自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 片倉コープアグリ㈱ 姫路工場

1 環境保全活動に関する方針等

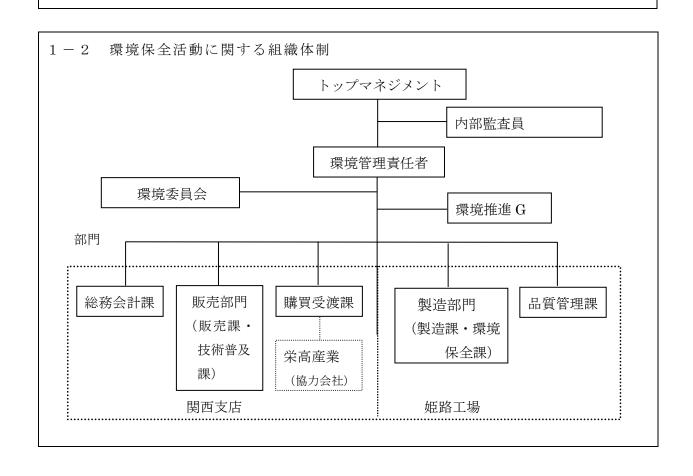
1-1 環境保全活動に関する方針

基本理念

当事業所は、地域貢献、環境共生に配慮した販売・生産活動を推進し、環境との調和した活動をおこなう。

環境方針

- ・豊かな食生活や健康を支える「安全で高品質、おいしい農産物」のニーズに応 える有機質肥料にこだわり、農業を通じて環境に貢献する。
- ・廃棄物の適切な管理と削減、エネルギー軽減、再生資源の利用に努め、環境目的・目標を定め、定期的に見直しを行い継続的改善と汚染の予防に努める。
- ・環境に関連する法規制および同意するその他の要求事項を順守する。
- ・環境に関する教育・啓発を行い、全従業員及び協力会社に対し周知する。
- ・環境管理の維持向上及び、環境マネジメントシステムの継続的見直しをおこな う。
- ・この環境方針は、必要に応じて公開する。また、環境方針は総務会計課に申し 込む事により誰でも入手出来るようにする。



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
廃棄物の適切な管理 〈著しい環境側面〉 (紙くずの削減)	生産量が増加したため、発生量は減少した。目標に対して76%に削減できた。	紙の分別と排出量の削減 2012 年度を基準に 2015 年 度までに 3%削減
廃棄物の適切な管理 〈著しい環境側面〉 (ポリの削減)	梅雨時期にバラ原料をフレコンバックで入荷 したため、目標に対して130%に増加した。	ポリの分別と排出量の削減 2012 年度を基準に 2015 年 度までに 3%削減
エネルギーの軽減 (電気使用量)	昼休みの消灯、遊休設備の停止などを行い、また生産数量減のため、全部門で目標に対して94%に削減した。	資源の使用量の削減(電気) 電力量×前年度対比 2012 年度を基準に 2015 年 度までに 3%削減
エネルギーの軽減 (重油使用量)	5月より乾燥炉の重油バーナーをガスバーナー に変更したため、大幅な削減ができた。	資源の使用量の削減(燃料) 燃料量×前年度対比 2012 年度を基準に 2015 年 度までに 3%削減
燃料の使用 〈著しい環境側面〉 (軽油使用量)	場内の製品置き場の整理整頓を進め、無駄な移動を削減したため、目標に対して 60%に削減した。	資源の使用量の削減(軽油) 2012 年度を基準に 2015 年 度までに 3%削減
紙使用量の削減	新システムの導入により紙の使用量が減った こと、裏紙活用により、目標に対して 83%に 削減した。	紙の使用量の削減 2012 年度を基準に 2015 年 度まで維持
有機入り製品の営 業活動 〈著しい環境側面〉	消費税増税に伴う前取りのため、有機入り製品の販売数量が減少し、目標に対して81%となった。	有機入り製品の販売量を 2012 年度を基準に 2015 年 度までに 1%増加

^{*}目標達成率は2014年度の評価です。